

財政部
稅務司
官費
附冊
發行所

陸海軍受第八五一號
滿洲國產業部理事官要員トシテ現職中更
割愛方ニ關スル件

關東軍

昭和拾四年七月拾日

15

1944

次官より農林次官宛照會 (陸滿密)

滿洲國政府より關東軍司令部下通之現農林事務官楠見義男氏より首題要員トシテ割愛相受ケ左記、通任用途旨申出有之候ニ付御配慮相燭度

左記

楠見義男

任産業部理事官 叙薦任一等給二級俸 (本俸四〇圓、平均月額五十六圓) 官房會計科長

陸滿密第四九二號

昭和四年七月十日 平山



滿秘人

關參滿發第二二一六號

滿洲國產業部理事官要員トシテ日本
現職官吏割愛方ニ關スル件

昭和十四年七月三日 關東軍參謀長 磯谷廉介

陸軍次官 山脇 隆 殿

首題要員トシテ現農林事務官楠見義男ヲ割愛相受ケ左記ノ通任用
致度旨滿洲國側ヨリ申出アリタルニ付交渉方配慮相煩度

左記

楠見 義男

任產業部理事官 敘薦任一等

給二級俸（本俸四八〇圓、平均月額五一六圓）

官房會計科長

陸軍



總人第三九五五號ノ二

康德六年六月三十日

滿洲帝國國務院總務長官 星野直樹

關東軍參謀長 磯谷廉介 殿

官吏任用二關又凡件

産業部理事官（官房會計科長）要員補充ニ關シテハ目下適任者ナキ爲
缺員（現在人事科長兼務）ノ儘ナルモ業務ノ都合上至急專任者ヲ任用
致度ニ付左記御承認相成度

進而右御承認ノ上ハ關係ノ向ニ對シ御交渉相煩度

記

（農林事務官）楠見義男

任產業部理事官敘薦任一等
給二級俸
官房會計科長
(本俸四八。円、平均月被五二六円)

給
級
俸

0753

次官より關東軍參謀長宛通牒（陸滿密）
 首題ノ件ニ關シ十月十二日附陸滿密第八五
 號ヲ以テ回答ニ置キタル左記ノ者ニ對シ十二
 月二日附現官退官發令アリタル旨農林次
 官より通牒越アリタルニ付承知相成度
 左記

農林事務官楠見義男

陸滿密第一〇四九號 昭和七年十二月七日

昭和十四年十二月二日

農務甲第七二五號

昭和十四年十二月二日

農林次官 銜 見

陸軍次官 阿 南 惟 幾 殿

七月十日付陸海軍第四九二號ヲ以テ御照會ニ係ル滿洲國產業部理事官要員
ニ關スル左記ノ事項當日付ヲ以テ通官致候ニ付可然御取計極煩度此段及通
知候也

記

(昭和十四年十二月二日通官)

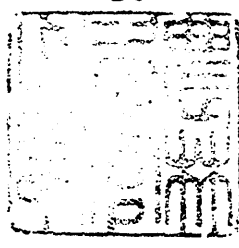
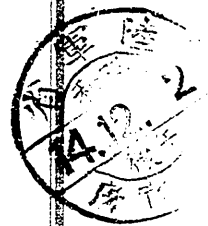
農林事務官

補

見

義

男



省

陸軍

滿洲國產業部理事官要員トシテ日本現職
官吏實錄方ニ關スル件

次官より関東軍參謀長宛回答
 (陸滿密)
 七月三日附關參滿發第二二六號首題ノ件ニ関
 之農林次官より別紙農秘甲第七二五號ヲ寫ノ通
 回答ヲ得タルニ付承認相成度

陸滿密第八八五號

昭和七年十月十二日



(印)



第...八五...

昭和十四年十月九日



昭和十四年十月九日

農林次官荷見安

陸軍次官山脇正隆殿

滿洲國産業部理事官要員ト多現職官吏

割愛方ニ関スル件

標記ノ件ニ関シ七月十日付陸滿密第四九二號ニ以テ
農林事務官楠見義男ヲ産業部理事官ニ任用ノ爲
割愛方照會有之候處當方ニ於テハ善支無之候条
御了知相成爲此段及回答ス

農林省

平テ地方官ノ時期ニ付テハ事務上ノ都合ニ有之候宜
 治第直接滿洲國側ト打合ヒ致意申候有